

大和川線ニュースレター発行にあたってのご挨拶



阪神高速道路株式会社
建設事業本部 堺建設部長
大西 俊之

沿線地域の皆さまには、平素から大和川線建設事業に格別のご支援、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

皆さまに、少しでも多く大和川線のことを知って頂こうと、このニュースレターを発行することにしました。ニュースレターの内容だけでなく、日頃の疑問、質問、ご意見を頂けましたら、紙面の許す限りお答えしていきたいと思っております。

これからが建設工事の最盛期を迎えますが、沿線地域および、関係する皆さまにご協力を頂きながら、安全・安心のもとに工事を進めてまいりますので、今後ともご支援のほど、宜しくお願いいたします。



▲堺区達里小野町4丁付近 (平成22年7月末撮影)

堺市「北区域交流まつり 2010」に参加しました！



大盛況！たくさんの方々と交流！

11月6日(土)、堺市金岡公園野球場にて、堺市「北区域交流まつり 2010」が開催されました。当社は地域の皆さまに、より大和川線のことを知って頂くため、例年北区域交流まつりに参加し、大和川線事業や工事進捗状況の説明をさせて頂くとともに、子供たちにはレンガアーチ橋づくりで土木技術の楽しさを感じてもらっています。ブースは常に盛況で、お客様から事業に対して応援の言葉も頂き、社員の励みになったとともに、沿線地域の皆さまと接する大切さを改めて認識しました。



ご存知ですか？「大和川線」のホームページ 阪神高速のトップページから、大和川線の詳しい情報サイトへ進めます。

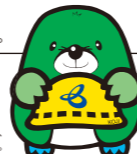
まずはこちらへ <http://www.hanshin-exp.co.jp/> **大和川線** をクリックして下さい。

大和川線やニュースレターに関する疑問、質問、ご意見などは下記までご連絡下さい。工事期間中は、何かとご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部
〒590-0075 堺市堺区南花田町2-3-20 (住友生命堺東ビル5階)
TEL: (072)226-4801 FAX: (072)226-4602

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は、環境にやさしい「植物油使用紙」、天然植物油顔料大豆インキを使用しています。



©A.M.J-4



大和川線ニュースレター

まち、川、緑とともに 大和川線

HANSHIN EXPRESSWAY YAMATOGAWA ROUTE NEWSLETTER

平成26年度末の完成にむけて、大和川線の《旬》をお届けします。

2010/Vol.1

冬号

平成22年12月発行

発行 / 阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部

2010 高速道路を楽しく学ぼう！ 阪神高速大和川線 現場見学会開催！



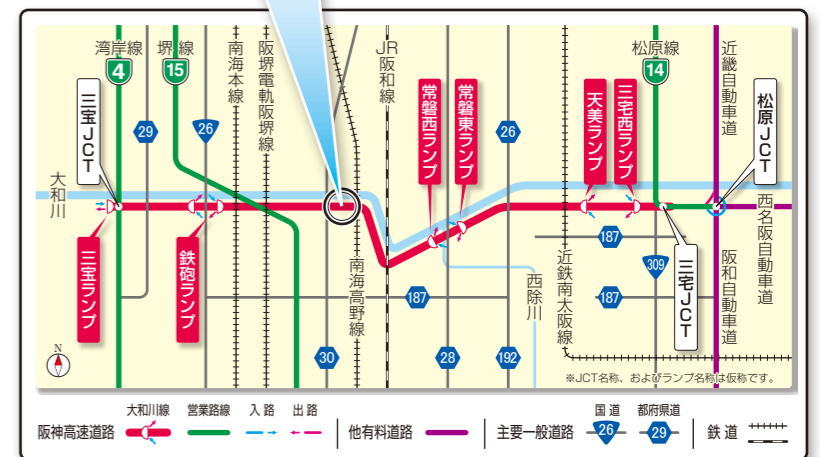
大和川線・土木技術をより身近に！

11月21日(日)秋晴れの中、大和川線の建設現場で見学会を行いました。この見学会は土木学会が制定する「土木の日※」にちなんで、毎年、当社の建設現場などで行っているものです。

当日は約500名の方々に参加して頂き、「トンネル建設現場ツアー」や「体験・展示コーナー」を通じて、大和川線や土木技術を身近に感じて頂きました。

当社では、今後も地域の皆さまにご理解とご協力を頂くため、このような見学会を行っていきたくと考えています。どうぞご期待下さい。

※土木の2文字を分解すると十一と十八になることから、土木学会の前身である「工学会」の創立が明治12年(1879)11月18日であることから、11月18日を「土木の日」と制定しました(土木学会解説より)。



平成26年度末の完成にむけて、
全区間、安全第一で工事を進めています。

阪神高速道路株式会社 工事区間の状況 (平成22年11月末現在)



三宝JCT.を西から東へ望む



A ▲ 三宝第1工区 (4号湾岸線西側)
湾岸線から大和川線に接続する場所です。橋脚を支える杭を地中に埋め込んでいます。



B ▲ 三宝第2工区 (三宝下水処理場付近)
地面を掘り下げた時に、周辺の地面が崩れないように土留壁を造っています。



C ▲ 三宝第4工区 - その1 (国道26号西側)
土留壁が完成し、掘削機械やダンプトラックが載って作業する土台(栈橋)を造っています。



D ▲ 三宝第4工区 - その2 (国道26号東側)
地面の掘り下げを終え、トンネルの底の部分を作っています。



E ▲ 阪堺線立体交差工区 (阪堺電気軌道線が施工)
軌道の下に水平ルーフと呼ばれるトンネル壁を造るための部材を押し込んでいます。



F ▲ 遠里小野第1工区 (阪堺電気軌道線～大阪和泉南線区間)
コンクリートが打ち終わり、トンネル構造物の姿が現れました。ここを車が走ります。



G ▲ 遠里小野第2工区 (大阪和泉南線～南海高野線区間)
コンクリートが打ち終わり、トンネル構造物の姿が現れました。ここを車が走ります。



H ▲ 大和川線シールドトンネル (遠里小野立坑)
ここからシールドマシンによりトンネルを造ります。マシン搬入前の準備中です。

